

819





大井上
 △長木の
 利七の事
 一巻

黒く
 叔
 蜀
 王
 仕
 と
 △

子品を
 出て利七
 以上よ
 朝
 悪
 利七
 準
 不
 能
 され
 御
 麻
 穿

遊むにふりて、喧嘩ありて、高崎剛太丈

けれハ五五の陣

高崎剛太丈

双方をまきこめ、怒れよ、村人ホ、よき做せ、刺し、力をおは、折らけ、高崎剛太丈とよ、無名と、と酒具、



新よ、双、白、白、か、の、勢、ま、老、推、激、ま、別



平手造酒

水詩上



近去りかき
 海より勢力はあ
 向ひ繁ハ彩を
 造酒とよむる
 酒人まを
 老翁を
 救ひ

勢力の
 外ハつと合



勢力

勢力の
 外ハつと合

剛清の政をよめあゆみの乾を招き考さる
談合ありきり又繁森が考よる小南の正助と
あつるの病中あつる繁森の乾思あを
戒めりきりあつる阪岡をり繁ふあを
のひ送りきりきり繁森も

勢カ

事分あよりの
よきをあして
繁く繁あきりきり
中よ愛目の新助
五の肉忠義とらる
若正助の繁を
羽ひを繁森も
かして阪岡る



村
知る

定色盆の潜込めを
待まりけ



松子入抛り物
喝りけよを
勢カハ尚書方

繁森

忠義をねき外
志がりあゆ

繁森の忠義をねき外
志がりあゆ

人

明治十五年
十月十四日

編輯者出版人馬喰町三百十番地
小森宗次郎

出づるその實を
懐然と怒り
版画へ押さ
五存
首を捕ら
おとす上りて蜀一々
前編終



開化文畧二冊	府產物往來二冊	筆法早學二冊	教則往來二冊
千字文一冊	寶林雜書一冊	諸職往來一冊	開化政見三卷
開化商賈往來一冊	小學作文博字法一冊	今古用文章一冊	大久保仁政談四冊
諸證書文例二冊	大日本國名畫一冊	開化庭訓往來一冊	開化大建繪二冊
勸農往來一冊	七體名頭字一冊	新萬國往來一冊	開化史一冊
用文數字講叙一冊	農商用文一冊	郵便書要一冊	新編一代記本
今體苗字盡一冊	農願屆證便覽一冊	明のりば節用一冊	旧往來本
東京名所方角一冊	開化消息往來二冊	進學往來一冊	武者本類
諸願屆證書式一冊	漢語往來二冊	漢式註違條例一冊	袋入本

錦繪問屋
馬喰町三丁目十番地
出版人 木屋小森宗次郎

定價

